

平成30年度 事業報告書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

1 配合飼料価格差補てん事業

(1) 平成30年度契約件数及び契約数量（畜種別 当初）

（単位：トン、戸）

畜種	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	うずら用等	計
契約数量	3,943	1,972	4,073	4,797	2,364	90	17,239
戸数	29	20	5	9	5	6	74

(2) 平成30年度通常価格差補てん積立金及び別途納付金の額

（単位：トン、円）

区分		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
通常補 てん積 立金	契約数量	4,308	4,252	4,362	4,228	17,150
	積立金単価	600	600	600	600	—
	積立金額	2,584,800	2,551,200	2,617,200	2,536,800	10,290,000
別途納付金		徴収なし				

(3) 価格差補てん金の交付について

（単位：kg、円）

区分		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第3四半期 (追加交付)	第4四半期
通常価 格差補 てん金	補てん対象数量	3,717,850	3,482,860	3,655,440	12,500	3,451,050
	補てん金単価	300	3,450	2,300	2,300	300
	補てん金額	1,115,355	12,015,866	8,407,512	28,750	1,035,315

2 畜産リース事業

(1) 一般財団法人畜産環境整備機構が行うリース事業の既貸付者に対する貸付料の回収及び（一財）畜産環境整備機構への納付を行った。

① 畜産環境整備特別対策機械リース事業（1/2 補助）

区分	貸付機械	件数(件)
直接リース	堆肥舎	1

回収及び納付額

123,310 円

② 畜産高度化支援リース事業（1/2 補助）

区 分	貸付機械	件数(件)
直接リース	堆肥置場	1
	ショベルローダー	1
計		2

回収及び納付額
701,638 円

③ 畜産経営力向上緊急支援リース事業（1/3 補助）

区 分	貸付機械	件数(件)
直接リース	自走式 ロールベアラ	1

回収及び納付額
1,291,908 円

④ 畜産経営高度化支援リース事業（経営リース）

区 分	貸付機械	件数(件)
直接リース	堆肥置場	1

回収及び納付額
456,960 円

3 流通飼料実態調査事業

高知県より委託を受け、委託事業実施要領に基づいて次の調査を実施し、報告書を作成した。

- (1) 配合飼料の供給及び流通の実態
- (2) 畜産農家の飼料購入の実態
- (3) 配合飼料の需給量の推移と価格の動向
- (4) 粗飼料の流通実態

4 養豚経営安定対策事業

養豚経営の安定を図るため、収益性が悪化した場合に粗収益と生産コストの差額の8割を生産者の負担金（県の補助金を含む）と国の補助金により造成された基金から補填する事業。

事業の周知及び説明会の開催、事務手続きの支援。

平成30年度は、各四半期ともに平均粗収益が平均生産コストを上回って推移したため、補填金の交付は行われなかった。

加入畜産経営者	事業対象頭数
10 名	33,704 頭

- 生産者負担金単価(1 頭当り) 1,400 円
国 補助金 (1/2) 700 円
生産者負担金(1/2) 700 円 (県補助金 350 円、生産者負担金 350 円)

なお、養豚経営安定対策事業は、環太平洋経済連携協定（TPP）の発効と同時に法制化され、肉豚経営安定交付金制度事業に移行し実施されている。高知県からの補助金については、養豚資金の拠出割合が生産者 1：国 3 となったため中止された。

- 肉豚経営安定交付金制度事業の参加状況

加入畜産経営者	事業対象頭数
10 名	11,481 頭

- 生産者負担金単価(1 頭当り) 400 円

5 畜産クラスター事業

当協会は、高知県養鶏クラスター協議会の事務局を担っているが、本年度においては畜産クラスター事業（機械導入事業）への参加要望はなかった。

今後も、当協議会の事務局として、当該事業の内容等を注視しながら、県及び窓口団体等と連携し、養鶏事業者の要望に応えられるよう努める。

6 鶏卵生産者経営安定対策事業

鶏卵生産者への情報提供

7 管理運営事項

1) 会議の開催

- (1) 定時総会
- (2) 理事会(2 回)